

発掘された映画たち 2018

Cinema: Lost and Found 2018

2018年1月30日(火) - 3月4日(日)

新年明けましておめでとうございます。

フィルムセンターが近年新たに**発掘・復元した映画を紹介する企画「発掘された映画たち」**を4年ぶりに開催する運びとなりました。

本企画では、初めてその全体像が明らかになった“皇太子渡欧映画”(1921)や、現存する最古のコマ撮りアニメーション『なまくら刀(塙内名刀之巻)』(1917)の新最長版、17.5mm やコダカラーといった「短命映画規格」のフィルムを多く含む阿部正直コレクション、名優望月優子や池部良が監督した知られざる独立プロ作品、また、無声映画期の染色・調色をデジタル復元した『コルシカの兄弟』(1915)や、アグファカラーの色の歴史的再現を目指した小津安二郎監督『浮草』(1959)のデジタル復元版、映画公開時の色味を再現した『セーラー服と機関銃 完璧版』(1982)の再タイミング版といった復元作品を含む、計30プログラム・89本の作品を上映します。



『京都 嵐山と祇園』(コダカラー作品)

1991年の「発掘された映画たち—小宮登美次郎コレクション」から始まった本企画は、寄贈者の方々や各関係機関・個人のご厚意やご協力に支えられ、今回で10回目を迎えます。当館の映画収集・保存・復元活動の成果、また現像所が培ってきたアナログ・デジタル両技術を駆使した復元の成果をご覧いただくことで、文化財・歴史資料としての視聴覚遺産を保存することの大切さを再認識していただける機会となることを心より願っています。

ぜひ、多くの方にお知らせしたく存じますので、周知へのご協力をいただけますと幸いに存じます。

開催に先立ち、**1月11日(木)15時30分より、記者発表会(次頁参照)も行います。**ご多用の折とは存じますが、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

◆本特集の見どころ

*“皇太子渡欧映画”(1921)の全貌が初めて明らかに

—裕仁皇太子(後の昭和天皇)が渡欧した際に製作され、当時大きな話題となった記録映画のフッテージを新発見!

*『なまくら刀(塙内名刀之巻)』(1917)の新最長版

—現存する最古のコマ撮りアニメーション『なまくら刀』に、さらに新しいフッテージが発見される。

*「阿部正直コレクション」—17.5mmフィルムやコダカラー作品など、映画史において特定の時期に存在した「短命映画規格」フィルムを多く撮影し残した、“雲の伯爵”こと阿部正直(1891-1966)のコレクション

*「カラー復元特集」—文献を基に染色・調色をデジタル・シミュレーションした『コルシカの兄弟』(1915)、『セーラー服と機関銃 完璧版』(1982)の再タイミング版、公開当時のフィルム・データを参照して小津作品のアグファカラーの色を再現した『浮草』(1959)

*「復元された弁士説明版」—6mmテープに残された往年の弁士の説明音声、HDデータと合成

*貴重な記録映画

—野田醤油(現・キッコーマン)、鈴木商店(現・味の素)、そして第27代首相・濱口雄幸(1870-1931)の実写記録映画

*名優の独立プロ監督作品—『ここに生きる』(1962、望月優子監督)、『ヴェトナム戦争』(1967、池部良監督)

*可燃性オリジナルネガからのダイレクトプリント—現在ほとんど残存していない可燃性オリジナルネガの中から、『たそがれ酒場』(1955、内田吐夢監督)など1950年代の新東宝を代表する7本の作品について、階調豊かでシャープな画質のニュープリントを作製

■発掘された映画たち 2018 Cinema: Lost and Found 2018

会期: 2018年1月30日(火) - 3月4日(日) *月曜日は休館

会場: 東京国立近代美術館フィルムセンター 大ホール(2階)

当日券: 一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円/障害者(付添者は原則1名まで)、キャンパスメンバーズは無料

前売券: 1月16日(火)10時より、チケットぴあにて全上映回の前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。各上映の前日23時59分まで販売。[Pコード: 558-034]

前売料金: 一般520円/高校・大学生・シニア310円/小・中学生100円

購入方法や発券手数料等の詳細→<http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/hakkutsu2018-2/#section1-7>

掲載用のお問い合わせ先: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

本企画ウェブサイト: <http://www.momat.go.jp/fc/exhibition/hakkutsu2018-2/>

発掘された映画たち 2018

記者発表会のご案内

日時：2018年1月11日（木）15:30～16:30（15:15受付開始）
会場：東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール（地下1階）

- とちぎあきら（フィルムセンター主幹）による挨拶
- 大傍正規（同主任研究員）による企画の概要とプログラムの解説（35mmフィルムとDVDの上映あり）
- 紙屋牧子（同特定研究員）による“皇太子渡欧映画”の解説（DVDの上映あり）

上映予定作品：

- ・裕仁皇太子（後の昭和天皇）が1921年に渡欧した際に製作された『皇太子渡欧映画 総集篇』[仮題]（1921）
- ・現存する最古のコマ撮りアニメーション『なまくら刀（埴凹内名刀之巻）』[新最長版]（1917、幸内純一作画）
- ・横山隆一の未公開アニメーション『おんぶおぼけ』（1955、横山隆一監督）
- ・非常に珍しいコダカラー作品『京都 嵐山と祇園』（1931、阿部正直撮影）
- ・可燃性オリジナルネガからのダイレクトプリント『たそがれ酒場』（1955、内田吐夢監督）

※各作品の抜粋を上映します。



『皇太子渡欧映画 総集篇』[仮題]



『なまくら刀（埴凹内名刀之巻）』[新最長版]

※広報用の画像、動画をご用意しております。

※記者発表会の写真・動画の撮影を希望される場合は、必ず事前にフィルムセンター事業推進室（最下段のお問合せ先参照）までご連絡ください。

※ご来場の際は、本状をご持参ください。